地域活動

コレクション

Ver.3

社会福祉法人　新見市社会福祉協議会

令和 4 年 3 月

目　次

地域活動コレクションとは・・・・・・・・・・・・・・・・P1

取組紹介

ふれあい・集いの場・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1～5

見守り活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5～6

実態把握・アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・P7～8

継続した活動をおこなうために・・・・・・・・・・・P9～10

助け合い・支えあい活動・・・・・・・・・・・・・・・P11～13

助け合い活動の基盤づくり・・・・・・・・・・・・・・P14

笑顔結びプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・P15～16

参考資料（助け合い支えあい活動 DVD 紹介）・・・・・P17～

・熊野の将来を考える会　助け合い事業

・正田地区　弁当配達見守り事業

参考資料（感染症関連）・・・・・・・・・・・・・・・・ P22～

・新しい生活様式を踏まえた地区社協活動・小地域ケア会議・福祉連絡会等における留意事項

・新しい生活様式を踏まえたふれあい事業実施における留意事項

・訪問される場合は感染予防を充分におこないましょう！

・サロンに参加される皆さまへのお願い

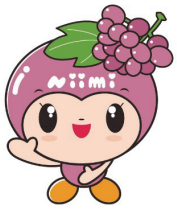
・新見型 新しい生活様式を実践！

・感染リスクが高まる「5 つの場面」

地域活動コレクションとは…

各地区で行われている
小地域ケア会議などの協議から
生まれた地域福祉活動を取組ごとに
まとめたものです

小地域ケア会議とは？
1人の困りごとを地域の問題として捉え、住民と専門職が一緒になって話し合い、支え合いの取組を考えていく協議の場です



取 組 紹 介

～ふれあい・集いの場～

取組紹介　～ふれあい・集いの場～

田治部地区

平成２９年度　小地域ケア会議で集いの場について話し合い

身近な場所や認知症カフェ、常設サロンなどいろんな形で集いの場があればいいな！

そこで

旧：田治部小学校を活用して全体で集まる場が作りたい！

“田治部笑楽交”(しょうがっこう）開校

旧田治部小学校に毎月地域全体で集まり、みんなでアイディアを出し合って集いの場を設けている

田治部笑楽交の様子

開校式

新米でおにぎりを作って、みんなでいただきました！

取組紹介　～ふれあい・集いの場～

草間地区（全域）

平成２７年度　小地域ケア会議での意見

「地域で集まる機会が少なくなった」

色んな話ができる
サロンが増えると
いいな

そこで

お互いに気にかけること
が何より。集落ごとに集
まれたらいいな

『集落ごとにサロンを作ろう！』

※令和元年度　２１か所でサロンを実施（うち、自主サロン１か所）

小地域ケア会議や福祉連絡会などの話し合いで
立ち上がったサロンは他にもあります

千屋：生きがいサロン

井倉：夢サロン原尻

菅生：摺臼原集落楽.楽サロン

　　天原ふれあいいきいきサロン

大佐：宗貞ふれあいいきいきサロン

　　川筋ふれあいいきいきサロン

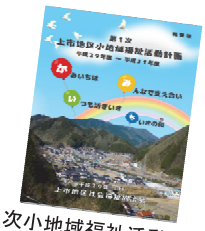
取 組 紹 介

～見守り活動～

取組紹介　～見守り活動～

上市地区

※Ｈ２７年度　福祉に関する
アンケートを実施（全戸対象）



第1次小地域福祉活動計画

平成２８年度　小地域福祉活動計画 策定

（３か年）

平成２９年度　防災＆見守りマップづくりで見守り活動の必要性を研修

災害時に見守りが必要な人は、日頃から見守りが必要！

平成３０年度　“お話訪問活動”開始

上市地区小地域福祉活動計画

☆スローガン　上市は　みんなで支え合い　いつも活きいき　地域の和

	取り組み内容	年次計画 H29	年次計画 H30	年次計画 H31
1人ひとりが地域とのつながりを感じる上市	【日頃できること】 ・あいさつ、声かけをする 【定期的に訪問活動をする】 ・定期的に訪問し安否確認（ペアで） ・見守りの人を増やす ・訪問者勉強会の実施（訪問時の留意事項など） ・傾聴ボランティアの育成 ・緊急連絡一覧の統一 【見守りの連携】 ・農協、郵便局と連携した取り組みをする	あいさつ 見守りマップづくり 定期訪問準備 訪問者勉強会 傾聴ボラ育成	定期訪問実施 見守りの連携	
	【今の活動にもうひと工夫しよう】 ・各種団体に地域課題を周知し、既存の活動を活かし、活動充実を図る 【定期的な集いの場】 ・男性サロンの実施 ・各地区で定期的に集まる ・隣近所でお茶を飲む、話せる場づくり ・おでかけサロン（1人暮らし宅へ寄り合う） ・小学校や認定こども園などを地域住民交流の拠点にする 【交流イベント】 ・地区ごとの運動会実施 ・気軽にできるスポーツ大会（げんき広場にいみの活用）	各種団体に地域課題の周知 定期的な集いの準備 実施サロンへの視察	既存の活動を活かし活動の充実を図る 定期的な集いの実施	
	・若い人に役を持ってもらう			若連との連携方法を協議

上市地区
「お話訪問活動」

◇実施団体　上市地区社会福祉協議会

◇実施開始　平成３０年１２月

◇対象者　見守りが必要な方で活動に同意をしている方

◇お話訪問対象者　２９名

（活動内容）

・月に1回、お話訪問ボランティアが２名１組で、自宅に訪問
・訪問状況を記録用紙に記入し、上市市民センターへ届ける
・支援が必要な方がいた場合、地区社協役員や民生委員が対応する

取組紹介　～見守り活動～

思誠地区

平成２７年度「あんしんカードの確認が必要」との意見

そこで

記入している情報は正しいかな？
古い情報になっていないかな？

必要な情報を記入して
冷蔵庫に貼っているかな？

あんしんカードの確認　実施

ちゃんと記入して
冷蔵庫に貼ってあ
るか確認しよう！

福祉連絡会での様子

友愛訪問の時に
合わせて聞くの
がいいと思う！

訪問者活動チェック表

【あんしんカード用】

思誠地区民生委員児童委員協議会
思誠地区社会福祉協議会

本会では、高齢者などの緊急時のために、あんしんカードの普及推進を行っています。別紙のチラシをお配りいただき、７５歳以上ひとり暮らしの方などが、緊急連絡先を記入しているかどうか、カードを冷蔵庫に貼っているかどうか、新たに配布を希望しているかどうか等の確認をお願いします。

おそれいりますが、以下の欄に記入およびチェックし、令和　　年　　月　　日までに担当地区の民生委員まで提出してください。

訪問者地区：　　氏名：	担当民生委員：

地区名	対象者名	カード	記入の確認		
	（訪問日） ／	ある	記入あり	冷蔵庫	貼っている・貼っていない
			近所の人		
			記入なし	記入の声掛け・貼付の声掛け	
		ない	配布希望あり	記入の声掛け・貼付の声掛け	
			配布希望なし	理由（　　）	
	（訪問日） ／	ある	記入あり	冷蔵庫	貼っている・貼っていない
			近所の人		
			記入なし	記入の声掛け・貼付の声掛け	
		ない	配布希望あり	記入の声掛け・貼付の声掛け	
			配布希望なし	理由（　　）	
	（訪問日） ／	ある	記入あり	冷蔵庫	貼っている・貼っていない
			近所の人		
			記入なし	記入の声掛け・貼付の声掛け	
		ない	配布希望あり	記入の声掛け・貼付の声掛け	
			配布希望なし	理由（　　）	

必要な情報を記入
して冷蔵庫に貼って
いますか？

友愛訪問などの訪問活動に合わせて実施。チェック表に確認内容を記載し民生委員に渡す。

☞民生委員と福祉委員の連携

取組紹介　～見守り活動～

正田地区

令和元年度　小地域ケア会議での意見
「あんしんカードの確認が必要」

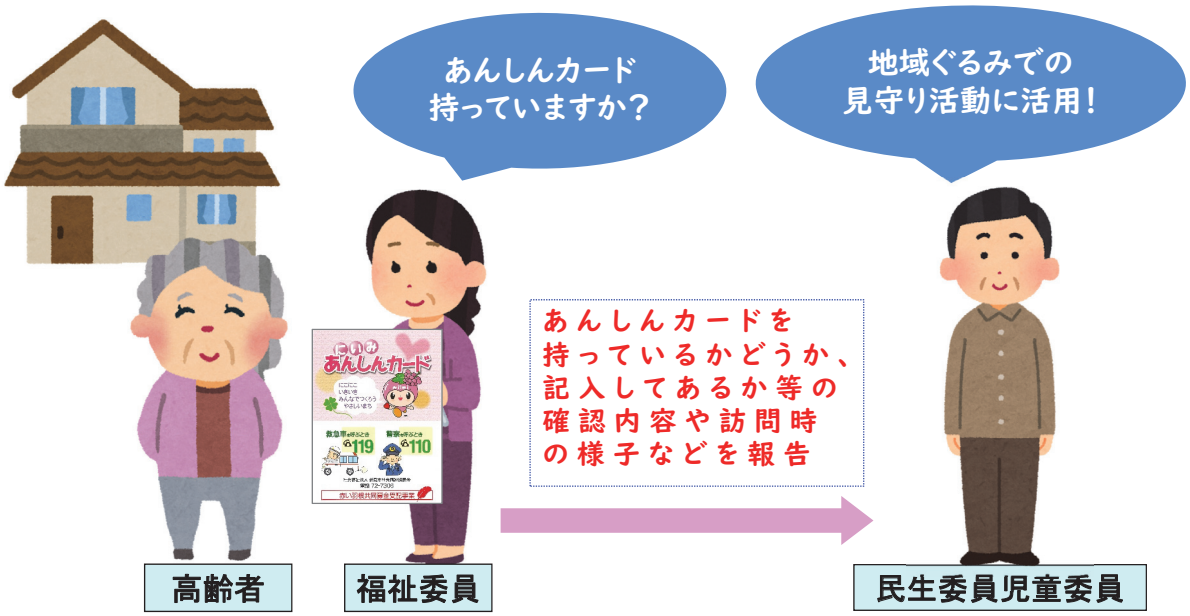
対象者：75歳以上のひとり暮らし、
80歳以上高齢者世帯

■ 福祉委員が高齢者宅を訪問して確認

〈確認内容〉
①あんしんカードを持っているかどうか
②記入ができているか

訪問後、民生委員に確認を行った内容を報告。

あんしんカードを通したつながりづくり



あんしんカードが地域住民と福祉委員、福祉委員と民生委員をつないでいるね

取組紹介　～見守り活動～

法曽地区

平成２９年度　小地域ケア会議での意見
「高齢化が進んで行事をしても集まるのが
　難しくなった」
「外出は難しいけど人と話す機会を持ちたい!」

そこで

「高齢者宅を訪問しよう」

友愛訪問事業で年に３回訪問しているけど、それ以外でも訪問したらどう？

友愛訪問事業では対象にはならない方も訪問しよう！

訪問活動の様子（R1.6.27、R2.1.25）

みんなで役割分担して活動しているよ

訪問活動に合わせてあんしんカードの確認もしているね

訪問活動後、小地域ケア会議などで訪問時の様子など確認しています

取組紹介　～見守り活動～

田治部地区

令和元年度　第1回小地域ケア会議での意見

「不在にするとき、隣近所に言わない人がいる」
「1人暮らしの人が不在の時は地区みんなで心配している」

との意見から

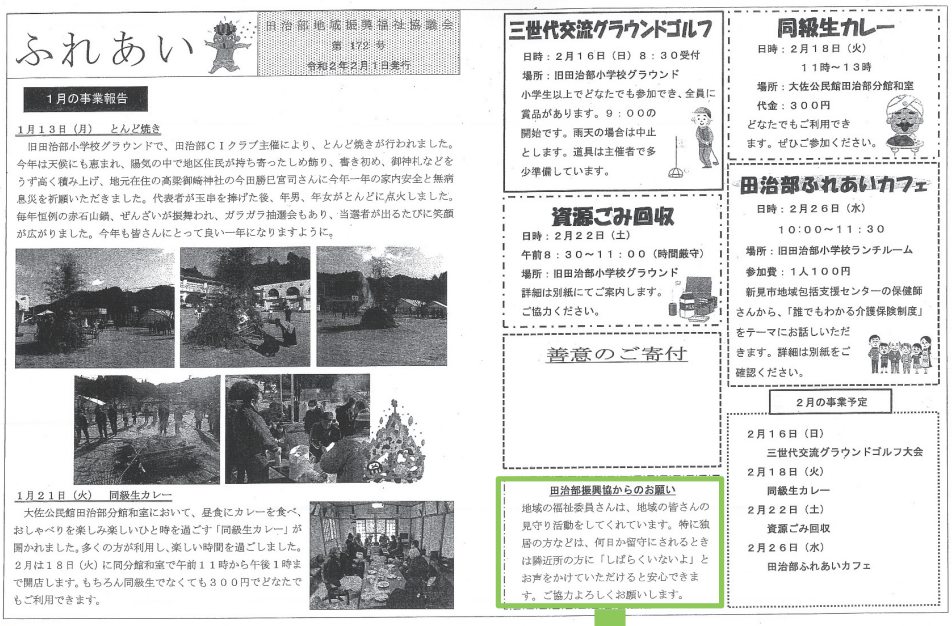
「不在の時には誰かに伝えてほしい」

「広報紙で広く知ってもらおう！」

誰でもいいから気兼ね
なく伝えてもらおう

ゆるやかなつながり
づくり

広報紙"ふれあい"で広報しました



ふれあい

田治部地域振興協議会
第172号
令和2年2月1日発行

1月の事業報告

1月13日（月）　とんど焼き

旧田治部小学校グラウンドで、田治部ＣＩクラブ主催により、とんど焼きが行われました。今年は天候にも恵まれ、陽気の中で地区住民が持ち寄ったしめ飾り、書き初め、御神札などをうず高く積み上げ、地元在住の高梁御崎神社の今田勝巳宮司さんに今年一年の家内安全と無病息災を祈願いただきました。代表者が玉串を捧げた後、年男、年女がとんどに点火しました。毎年恒例の赤石山鎮、ぜんざいが振舞われ、ガラガラ抽選会もあり、当選者が出るたびに笑顔が広がりました。今年も皆さんにとって良い一年になりますように。

1月21日（火）　同級生カレー

大佐公民館田治部分館和室において、昼食にカレーを食べ、おしゃべりを楽しみ楽しいひと時を過ごす「同級生カレー」が開かれました。多くの方が利用し、楽しい時間を過ごしました。2月は18日（火）に同分館和室で午前11時から午後1時まで開店します。もちろん同級生でなくても300円でどなたでもご利用できます。

三世代交流グラウンドゴルフ

日時：2月16日（日）8：30受付
場所：旧田治部小学校グラウンド
小学生以上でどなたでも参加でき、全員に賞品があります。9：00の開始です。雨天の場合は中止とします。道具は主催者で多少準備しています。

資源ごみ回収

日時：2月22日（土）
午前8：30～11：00（時間厳守）
場所：旧田治部小学校グラウンド
詳細は別紙にてご案内します。
ご協力ください。

善意のご寄付

田治部振興協からのお願い

地域の福祉委員さんは、地域の皆さんの見守り活動をしてくれています。特に独居の方などは、何日か留守にされるときは隣近所の方に「しばらくいないよ」とお声をかけていただけると安心できます。ご協力よろしくお願いします。

同級生カレー

日時：2月18日（火）
11時～13時
場所：大佐公民館田治部分館和室
代金：300円
どなたでもご利用できます。ぜひご参加ください。

田治部ふれあいカフェ

日時：2月26日（水）
10：00～11：30
場所：旧田治部小学校ランチルーム
参加費：1人100円
新見市地域包括支援センターの保健師さんから、「誰でもわかる介護保険制度」をテーマにお話しいただきます。詳細は別紙をご確認ください。

2月の事業予定

2月16日（日）
三世代交流グラウンドゴルフ大会
2月18日（火）
同級生カレー
2月22日（土）
資源ごみ回収
2月26日（水）
田治部ふれあいカフェ

地域の福祉委員さんは、地域のみなさんの見守り活動をしてくれています。特に独居の方などは、何日か留守にされるときは隣近所の方に「しばらくいないよ」とお声を掛けていただけると安心できます。ご協力お願いします。

取 組 紹 介

～実態把握・アンケート調査～

取組紹介　～アンケート調査～

菅生地区

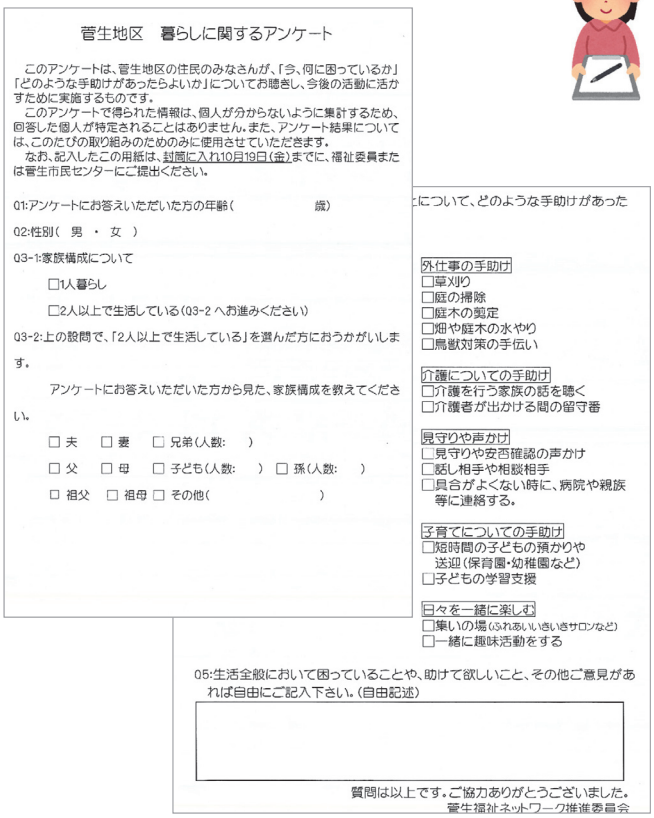
平成２９年度　小地域ケア会議での意見

「小地域ケア会議を持てたのはいいけど、
何から始めたらいいかわからない」
「生活上の困りごとを聞いてみよう」

そこで

平成３０年度　**暮らしに関するアンケート**
実施

＜アンケート内容＞



菅生地区　暮らしに関するアンケート

このアンケートは、菅生地区の住民のみなさんが、「今、何に困っているか」「どのような手助けがあったらよいか」についてお聴きし、今後の活動に活かすために実施するものです。
このアンケートで得られた情報は、個人が分からないように集計するため、回答した個人が特定されることはありません。また、アンケート結果については、このたびの取り組みのためのみに使用させていただきます。
なお、記入したこの用紙は、封筒に入れ10月19日(金)までに、福祉委員または菅生市民センターにご提出ください。

Q1:アンケートにお答えいただいた方の年齢(　　歳)

Q2:性別(　男　・　女　)

Q3-1:家族構成について

□1人暮らし

□2人以上で生活している(Q3-2へお進みください)

Q3-2:上の設問で、「2人以上で生活している」を選んだ方におうかがいします。

アンケートにお答えいただいた方から見た、家族構成を教えてください。

□夫　□妻　□兄弟(人数:　)

□父　□母　□子ども(人数:　)　□孫(人数:　)

□祖父　□祖母　□その他(　　)

について、どのような手助けがあった

外仕事の手助け
□草刈り
□庭の掃除
□庭木の剪定
□畑や庭木の水やり
□鳥獣対策の手伝い

介護についての手助け
□介護を行う家族の話を聴く
□介護者が出かける間の留守番

見守りや声かけ
□見守りや安否確認の声かけ
□話し相手や相談相手
□具合がよくない時に、病院や親族等に連絡する。

子育てについての手助け
□短時間の子どもの預かりや送迎(保育園・幼稚園など)
□子どもの学習支援

日々を一緒に楽しむ
□集いの場(ふれあいいきいきサロンなど)
□一緒に趣味活動をする

Q5:生活全般において困っていることや、助けて欲しいこと、その他ご意見があれば自由にご記入下さい。(自由記述)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
菅生福祉ネットワーク推進委員会

◇対象者
菅生に住む全世帯

◇実施時期
Ｈ３０.１０．１～
１０.１９

◇実施方法
福祉委員が各戸訪問し
配付

◇実施主体
菅生地区福祉ネット
ワーク推進委員会

＜アンケート結果＞

困りごとランキング　トップ３

１位
雪かき
５２件

２位
草刈り
５０件

３位
鳥獣対策の手伝い
３８件

今後地域内の協議や地域活動の参考にしていく予定としています。

取組紹介　～アンケート調査～

草間地区（全域）

平成３０年度　小地域ケア会議での意見

「生活ニーズを聞いて地域での福祉活動につなげよう」

そこで

「困りごとに関する聞き取り調査」実施

＜アンケート調査＞

◇対象者：草間に住んでいる全世帯

◇実施日：平成３０年５月１２日～６月末日

【 草間 ・ 土橋 ・ 足見 】

訪問したときの様子を教えてください

【 所 属 ： 福祉委員 ・ サロン代表 ・ 民生委員 】
（いずれかに○をつけてください）

▸ 地域の方から出た声

▸ 訪問してみて気づいたこと
※訪問先の様子や地域を回ってみて気づいたことなどを自由に書いてください。

▸ 訪問活動をしてみた感想

【草間】聞き取り調査をしてくださる方へ

日頃は地域の福祉活動へのご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、草間地区では、地域の生活ニーズをより細かく情報収集するために、訪問活動やサロンを中心的に行われている方のご協力をいただき、お住まいの地域内で聞き取り調査を行っていただくこととなりました。

つきましては、下記のような質問事項を参考にしていただきながら、訪問先やサロン活動時に聞き取り調査をしていただきますよう、お願い申し上げます。

Thank you

聞き取り調査の方法

１．連絡表『地域の輪』の各戸配布に合わせて、聞き取り調査を行います。
２．訪問先のどなたかに下記の項目を質問していただき、様式に記入してください。
３．調査終了後は、訪問して気づいたことや感想を記入し、６月１５日（金）頃までに担当の民生委員、もしくは草間市民センターへご提出ください。
４．ご不明な点がありましたら、草間市民センター（☎７４－９００１）へお尋ねください。

調査対象範囲

福祉委員は各戸に聞き取りをおこなってください。
サロン代表者はサロン参加者を対象に、サロン開催時に聞き取りをおこなってください。
何役も持たれている方はいずれかを選択し、地区の全世帯へ調査が行えるようにしてください。
＊もし、訪問しづらい世帯がありましたら、担当の民生委員に調査を委ねるなどしてください。

聞き取り内容の例

- 体調はいかがですか。
- 緊急時の連絡先を決めていますか。
- あんしんカードは冷蔵庫に貼っていますか。
- 告知放送機器を活用した緊急通報システムのことは知っていますか。
- かかりつけの病院は決められていますか。
- 買い物はどうされていますか。（どこへ、どの頻度、どのようにいかれているか）
- 買い物へ行くとき、どのような方法やサービスがあれば良いですか。
- （一人暮らしの方に）食事を３食きちんと食べていますか。
- 他に困っていることはないですか。

この調査は、地域のニーズを明らかにし、今後の草間地区での取り組みの参考となる大切な調査になります。お忙しいと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

草間地域づくり推進委員会・草間地区福祉ネットワーク

◇実施方法　・サロンに来た時に聞き取り
　　・民生委員・福祉委員による訪問活動の聞き取り

◇実施主体　草間地区地域づくり推進委員会・草間地区福祉ネットワーク

＜アンケート結果＞

草間地区　聞き取り調査のまとめ

＊回答数：１１回答（内訳：地区　１８地区中　９地区　／　サロン　１３サロン中　２サロン）

分類		回答数	概要
移動のこと	買い物	5	・高齢者は、JA に持ってきてもらったり、移動販売を利用している。 ・年をとって運転できなくなった時のことを思うと不安。
	通院	2	・重度障がい者は介護タクシーを利用して受診しているが、タクシー代が高く、継続治療（週一回）が難しい。
	その他	7	・公共交通機関が充実すれば、買い物や通院、その他の用事に助かるので、定期運行（目つ安価）バスを走らせて欲しい。
緊急時のこと		5	・緊急通報システムのことは知っているが、携帯を利用している。 ・あんしんカードは貼っている人もいれば、失くした人もいる。 ・“地域の輪”もあんしんカードのように具体的なものになれば良い。‘各戸冷蔵庫に貼布’と統一しておけば、他者にもわかりやすい。
その他、生活のこと			・野生動物が自宅の敷地内で糞をして困っている。 ・通学路の草が気になる。 ・近所との交流があり、毎月のサロンで安否確認ができている。 ・訪問が必要な方を中心に、定期的な訪問（話し相手）をしてはどうか。

土橋地区　聞き取り調査のまとめ

＊回答数：７回答（内訳：地区　９地区中　４地区　／　サロン　７サロン中　３サロン）

分類		回答数	概要
移動のこと	買い物	3	・福祉タクシーを利用して買い物や病院に行っている。 ・今は買い物に困っていないが、今後買い物ツアーが必要になってくる。
	通院	4	・市外に住む家族や親戚に病院に連れて行ってもらっている。
	その他	2	・今から先、年を重ねたときに買い物・病院へ行くことが難しくなる。小型のバンでも定期的に回ってくれると助かる。 ・タクシーやバスの利用料がいくらか免除されたら助かる。
連絡のこと		2	・地区の連絡網は困った時に相談しやすくなった。 ・あんしんカードは、急病で救急車を頼んだとき、とても必要。
その他、生活のこと			・ゴミ出しを市外在住の子どもやヘルパーにしてもらっている。 ・家族が遠くに住んでいてほとんど帰って来ない世帯がある。 ・楽しみや生活力への意欲喪失気味？と感じる方がいる。 ・サロンで使う集会所の老朽化で不便を感じている。

足見地区　聞き取り調査のまとめ

＊回答数：９回答（内訳：地区　１７地区中　９地区　／　サロン　１３サロン中　２サロン）

分類	回答数	概要
移動のこと	14	・外出時は家族の送迎や、自分で運転している。 ・緊急時に家族にお願いできないので困る。 ・運転ができなくなったとき、利用しやすいバスがないのは不安。 ・朝夕の１便ずつでも定期バスを運行してほしい。
買い物ツアーについて	7	・現時点では利用しない。免許を返納したら利用したい。 ・月２回、時間は午後が良い。主に食料品や日用品が揃ったスーパーやドラッグストアーに行くようなものが良い。 ・今は移動購買者があるから利用しようとは思わない。 ・地区で計画する買い物ツアーは、運転手等の問題があり難しいのでは？
その他		・今はいきいき健康アップや、部落ごとの行事、お寺などの行事もあるから今のままでいい。 ・移動図書館があればいいな。

▶３地区の聞き取り調査から見えてきたこと

３地区の聞き取りから、「今は家族のフォローもあり、近所の人との交流もある」「現時点では大きな困りごとを感じることは生活している」、「数年後、高齢化が進んだ時の不安がある」等といった意見が共通して見られた。

今のところ、地域のサロンや健康教室へ参加したり、買い物や通院も自分で行ったり、親族を頼りながら行い、お互いに助け合いながら生活をされているため、大きな困りごとはない現状にあった。

しかし、数年後のことを考えたときに不安といった意見が多く見受けられた。

他にも、今回の聞き取り調査をきっかけに、高齢者の日頃の生活を知り、定期的な訪問活動や話し相手（傾聴ボランティア）の必要性を感じたといった意見が多数ありました。

聞き取り調査の結果を踏まえて

地域の将来像をイメージし、必要なことを考えよう！

取組紹介　～アンケート調査～

西方地区

平成３０年度　小地域ケア会議での意見

「本当に困っている人は自分から困っていると言えないのではないか」

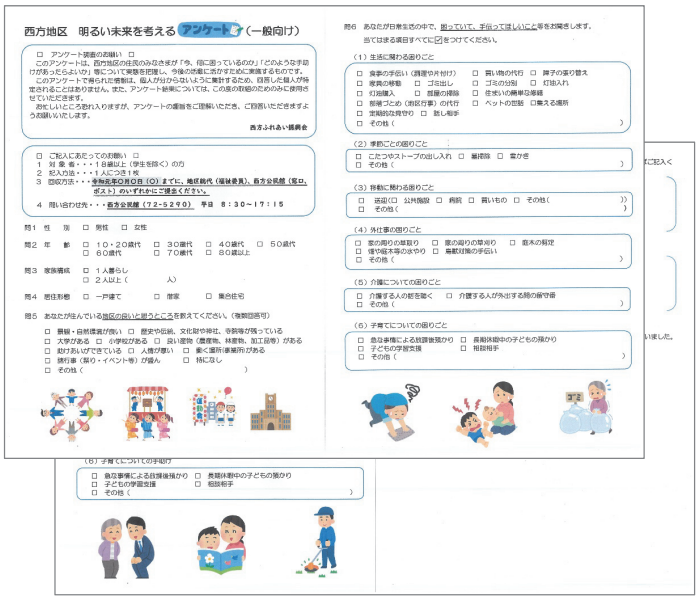
「困りごとを把握するためアンケートをしよう」

「子どもたちにも地域に関心を持ってもらおう」

そこで

「明るい未来を考えるアンケート」実施

＜一般向けアンケート＞


西方地区　明るい未来を考える アンケート（一般向け）

◇対象者
地区在住18歳以上の方

◇実施時期
R1.12. 2～
12.20

◇実施方法
福祉委員が各戸訪問し
配付

◇実施主体
西方ふれあい振興会

※今後、小学生・中学生向け、大学生向けのアンケートを
実施予定です

取組紹介　～アンケート調査～

足立地区

平成３０年度　小地域ケア会議での意見

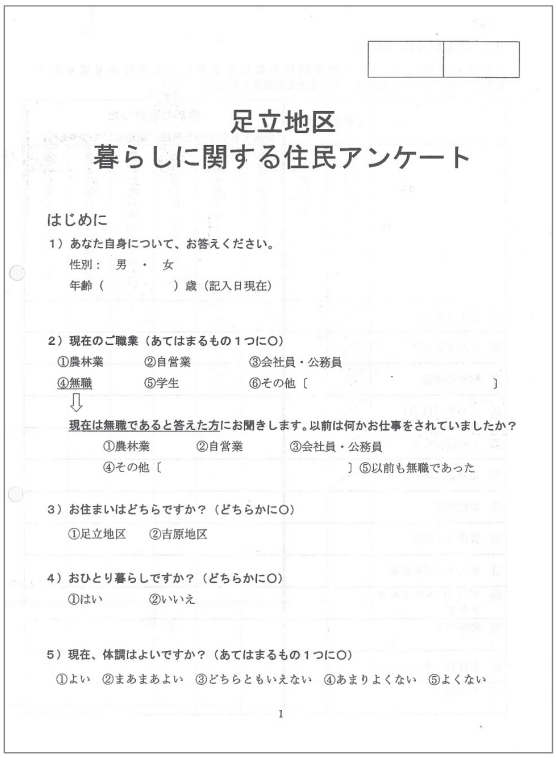
「地域活動に対する住民の意見や考えを聞きたい」

今までの小地域ケア会議で出た課題や意見などを参考に住民の声を聞いてみよう！

そこで

「暮らしに関する住民アンケート」実施

大学の先生の力をお借りして



足立地区
暮らしに関する住民アンケート

はじめに
1）あなた自身について、お答えください。
性別：　男　・　女
年齢（　　）歳（記入日現在）

2）現在のご職業（あてはまるもの１つに○）
①農林業　②自営業　③会社員・公務員
④無職　⑤学生　⑥その他〔　　〕
⇩
現在は無職であると答えた方にお聞きします。以前は何かお仕事をされていましたか？
①農林業　②自営業　③会社員・公務員
④その他〔　　〕⑤以前も無職であった

3）お住まいはどちらですか？（どちらかに○）
①足立地区　②吉原地区

4）おひとり暮らしですか？（どちらかに○）
①はい　②いいえ

5）現在、体調はよいですか？（あてはまるもの１つに○）
①よい　②まあまあよい　③どちらともいえない　④あまりよくない　⑤よくない

1

◇対象者
地区在住中学生以上の方

◇実施時期
R1.8.28～9.13

◇実施方法
小地域ケア会議メンバーが各戸訪問し配付

◇実施主体
足立地域振興会

R2.3.1　アンケート報告会・ワークショップ実施

取組紹介

～防災関連～

防　災
研修会

取組紹介　～防災～

土橋地区

平成２９年度　小地域ケア会議での意見

「小部落内の連携強化・困ったときの連絡先がわかればいいな」

そこで

“土橋地区連絡網”を作成し、配付

Ｈ３０年７月豪雨災害時、支援物資を届けるのに活用しました！

取組紹介　～防災～

長屋地区

平成２９年度　小地域ケア会議での意見

★子どもと高齢者の見守り活動について

・小学校の登下校の見守りや学校ボランティアとして毎日一緒に登下校をしている。子どもと毎日歩くことで顔が見える関係がある
・独居高齢者宅の電気がつくかどうかの確認をしている
・消防団の広報活動が見守りにつながればいいな

★公会堂を拠点とした活動について

・公会堂が出来て便利が良くなった。地域の拠点が出来た
・世代を超えた交流ができるといいな
・地域の良さを地域のみんなが知る活動ができないかな

グループワークの様子

★こんな長屋がいいな

・活力ある地域、年をとっても長屋に住んでよかったと思いたい
・子どもたちに地域の歴史を伝えていく

把握した課題 …大きく分けて５っ

①高齢者の孤独、孤立防止　②買い物、移動支援

③防災について　④公会堂の利用　⑤長屋に住み続けたいと思えるように

平成30年度　小地域ケア会議で

５つの課題について

「今後取り組んでみたいこと」を協議

Ｈ３０.７

西日本豪雨発生

平成31年２月　小地域ケア会議での意見

「防災に関する研修会がしたい」

「地域住民の防災意識を高めよう！」

「いざという時のために

～災害に強い長屋をめざして～」

主催：振興会
共催：婦人会

R1年7月21日
R2年2月23日 **長屋地区防災研修会** **実施**

防災士による、防災や減災に関する研修会

第1回

災害時に役立つ体験＆調理実習

第2回

取組紹介　～防災～

思誠地区

H30.7月豪雨災害後…

平成３０年度
福祉連絡会や小地域ケア会議、民生委員会等

「初めて**災害**に遭い、何をどうしたらいいのか
わからなかった」
「避難所に行くタイミングがわからなかった」
「**避難勧告・避難指示**などの言葉の意味が
わからなかった」
等の意見が出されました。

平成３０年度　第３回小地域ケア会議での意見

「住民の意識が変わってきた今だからこそ
研修会を開催しよう」
「自分の命は自分で守る意識を広めたい」

そこで

“思誠地区社協研修会”　実施

現在、災害関連や災害を通した地域で
のつながりづくりについて継続協議し
ています。

取組紹介　～防災～

熊谷地区

平成３０年度　福祉連絡会

「大きな災害が起きたときには個人の判断や取組には限界がある…」

そのような意見から

日頃からの”もしも“に備えた組織づくりや助け合いの仕組みづくりが必要

もしもの時どうしたら…　防災 × 福祉　ふだんのくらしのしあわせ

＜令和元年度の取組＞

第１回福祉連絡会	第２回福祉連絡会 兼 熊谷自主防災研修会
「災害時に備え必要な取組について」 「福祉と防災について今後一緒に取り組んでいきたい団体について検討しよう」 	「災害時における対応や備えについて」 講師：新見市役所総務課危機管理係
第３回福祉連絡会 兼 熊谷自主防災研修会	**福祉連絡会　報告会**
「福本地区自主防災組織の取組について」 講師：福本地区自主防災会会長 山本 仁 	これまでの福祉連絡会で出た防災に関する意見や取組についての報告

取組紹介　～防災～

上刑部地区

令和元年度　小地域ケア会議での意見

（H30.7月豪雨を振り返って）
「**避難の判断基準**が難しい」「**情報**が入ってこなかった」

↓

事前に取り組めることについて、
「個人」、「地域」、「公的機関」に分けて**協議**

↓

「個人や家庭で、取り組めることをまとめて各戸に配付しよう！」となりました。

上刑部地域

上刑部地区の災害時避難場所

○大佐公民館上刑部分館（旧淳和小学校）

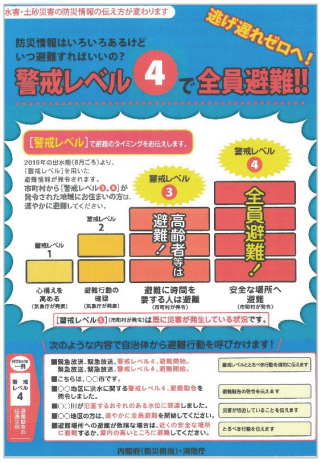
大佐公民館上刑部分館は、洪水と地震のときに避難場所に指定されています。

我が家の避難場所を考えよう！！

- 地　震のときは・・・＿＿＿＿＿＿
- 洪　水のときは・・・＿＿＿＿＿＿
- 土砂災害のときは・・・＿＿＿＿＿＿
- 台　風のときは・・・＿＿＿＿＿＿

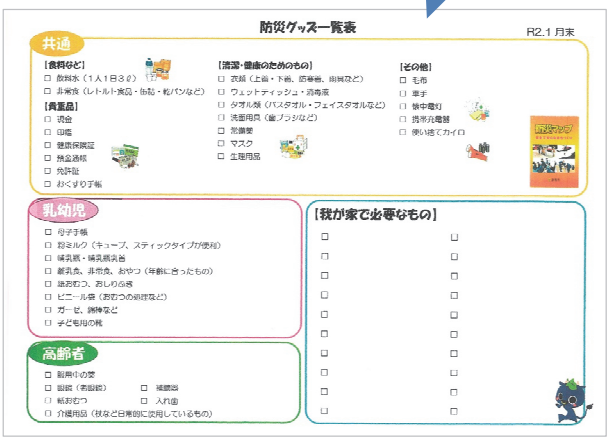
外に出るのが危険と感じたときは、、、**自宅の２階**に避難しよう！

上刑部地域振興福祉協議会



警戒レベルのチラシ

防災グッズ一覧表



取組紹介

～助け合い・支えあい活動～

おたがいさま

取組紹介　～助け合い・支え合い活動～

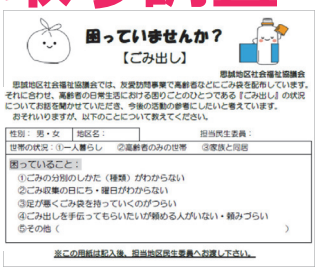
思誠地区

「ゴミ出しに困っている人がいる」という地域の人の声をもとに…

平成２８年度
「ごみ出しに関する困りごとを聞こう」

との意見から

友愛訪問事業での“ごみ袋配付”に併せて
ごみ出しに関する聞き取り調査
実施



困っていませんか？
【ごみ出し】

思誠地区社会福祉協議会

思誠地区社会福祉協議会では、友愛訪問事業で高齢者などにごみ袋を配布しています。それに合わせ、高齢者の日常生活における困りごとのひとつである『ごみ出し』の状況についてお話を聞かせていただき、今後の活動の参考にしたいと考えています。
おそれいりますが、以下のことについて教えてください。

性別：男・女	地区名：	担当民生委員：
世帯の状況：①一人暮らし　②高齢者のみの世帯　③家族と同居		

困っていること：
①ごみの分別のしかた（種類）がわからない
②ごみ収集の日にち・曜日がわからない
③足が重くごみ袋を持っていくのがつらい
④ごみ出しを手伝ってもらいたいが頼める人がいない・頼みづらい
⑤その他（　　）

※この用紙は記入後、担当地区民生委員へお渡しください。

＜調査結果＞

「体調の悪い時のことを考えると不安」

「人に頼みづらい」

「缶やビンの日が分からない」

「ゴミの分別がわからない・ビン類の分別が複雑」

「ごみステーションのふたが重い」

＜取組内容＞

＊ごみの分別出前講座の開催
福祉連絡会（３会場）
地区の常会

＊廃品回収の活動を広める
思誠小学校や地域団体と連携

＊普段からのちょっとした声掛けや さりげない手伝い

「ごみ出しに困っていないか声をかけてみよう」
「ごみステーションのフタが重いから開けてあげよう」

取組紹介　～助け合い・支え合い活動～

豊永地区

平成２７年度　小地域ケア会議での意見
「今後、食に関する支援が必要になってくる」

平成２８年度
食の支援に関するアンケート実施

買い物ツアーを利用したい人が半数以上！

平成２９年７月 **「買い物ツアー」スタート!**
（月2回実施）

＜豊永地区買い物ツアー＞

実施主体：豊永地区福祉ネットワーク

開始日　：平成２９年７月

対象者　：７５歳以上独居・８０歳以上高齢者世帯で
聞き取り調査で買い物ツアーを希望された方

運行ルート：対象者を２班に分けて
奇数月はマルナカ、偶数月はサンパークへ

取組紹介　～助け合い・支え合い活動～

蚊家地区

平成２９年度　小地域ケア会議での意見
「雪が降ったら買い物や通院に
困る人がいる」

↓

平成３０年度　第２回小地域ケア会議
雪かきに困る人の把握・雪かきルートの確認

↓

平成３１年２月　**除雪支援事業（スコップ隊）**
（協働のまちづくり交付金活用）

除雪支援（スコップ隊）事業

平成３１年２月スタート

蚊家地区ふるさと振興協議会
除雪支援（スコップ隊）事業
（新見市協働のまちづくり交付金事業）

●活動内容

○住宅付近の除雪作業
○凍結防止剤の散布作業
○利用可能期間（２月から３月末）まで
※電話受付は、１月３０日から開始

●利用対象者・利用条件

○蚊家地域内に在住する世帯
※事業を円滑に進めるため、全世帯に５００円をご負担いただきます。
（利用条件）
次のいずれかに該当する世帯が利用できます
○４月時点で７０歳以上の高齢者のみで構成された世帯
○身体障害者手帳などを所持している方がいる世帯
○その他、協議会が支援が必要と認めた世帯（自力で除雪が困難な世帯）
○豪雪地帯と認められる世帯

●利用料金

１時間あたり 1,000円
※作業は、最長３時間までとします。
※延長の場合は、30分毎に1,000円追加

●除雪隊について

・除雪隊員は、総勢１０人です。
・除雪機は、１台のみです。除雪機の利用については、振興協議会で判断します。
・作業を行う隊員は、振興協議会で人数を決めさせていただきます。

●除雪支援のながれ

除雪支援事業利用希望者
↓
除雪依頼
担当者へ電話で依頼
（受付時間 午前6時～午後5時まで）
↓
担当（除雪隊）受付
・依頼の受付
・担当隊員の調整
・担当隊員の派遣
↓
支援対応連絡
依頼者へ支援日、時間、作業者氏名など必要事項を連絡
↓
サービス提供　利用料金の支払い

利用料金について

・利用料金は、除雪作業完了後に隊員へお支払いください。（領収書を発行します。）
・当日など急な予約には、対応できない場合がありますので、予めご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ
蚊家地区ふるさと振興協議会事務局　担当：宮田・吉川・荒木
電話 宮田：090-5374-1096 吉川：090-4690-1457 荒木：090-4658-6494
（受付時間　午前6時～午後５時まで）

結成式の様子

取組紹介　～助け合い・支え合い活動～

熊野地区

平成２８年度　小地域ケア会議　協議内容
「地域のいいところを探そう」

いつまでも元気で住みやすい地域であり続けるために
地域の方の困り事を聞いて
自分たちでできることはないか考えよう！

平成２９年度
“助け合いに関するアンケート”実施

＜アンケート内容＞

B

熊野・井倉野地区　助け合いに関するアンケート調査

このアンケートは、熊野・井倉野地区の住民の皆さんに「今、何に困っているか」、また、「どんなお手伝いができるか」等について皆さまの意見をお聞きし、今後の活動に活かすために実施するものです。20歳以上の方でご協力して頂ける方は、1人につき1枚ご記入ください。
お忙しいとは思いますが、ご協力をお願い致します。
※この助け合い活動は、有償によるものを想定しています。
※このアンケートは、当事業の研究目的以外に使用することはありません。

① 氏名　（　　）　② 年齢　（　　）歳

③ 性別　（ 男 ・ 女 ）

④ 家族構成　1人暮らし

2人以上（ 夫・妻・兄弟・父・母・子ども・孫・祖父・祖母・その他 ）
（　名）　（　名）（　名）

⑤ あなたが日常生活の中で、地域住民の※有償活動で何を手伝ってほしいかお聞きします。
以下の質問の該当する項目に○をつけてください。

※有償活動とはお金が発生する活動の事です

- □ ごみ出し
- □ ごみの分別
- □ 家の周りの草取り
- □ 家の周りの草刈り
- □ 話し相手
- □ 墓掃除
- □ 障子の張り替え
- □ 住まいの簡単な修繕・掃除
- □ 庭木の剪定
- □ 鳥獣対策の手伝い
- □ 部落づとめ（地区行事）の代行
- □ 灯油入れ
- □ 灯油購入
- □ こたつやストーブの出し入れ
- □ 家具の移動
- □ 買い物の代行
- □ 長期休暇中の子どもの預かり
- □ 急な事情による放課後預かり
- □ 子どもの学習支援
- □ ペットの世話
- □ 花・自家製野菜の水やり
- □ 送迎（公共施設、病院他）

⑥ あなたが日常生活の中で、自分の住んでいる地域の方にできるお手伝いがありますか。
下記の活動の口にチェックを入れてください。

- □ ごみ出し
- □ ごみの分別
- □ 家の周りの草取り
- □ 家の周りの草刈り
- □ 話し相手
- □ 墓掃除
- □ 障子の張り替え
- □ 住まいの簡単な修繕・掃除
- □ 庭木の剪定
- □ 鳥獣対策の手伝い
- □ 部落づとめ（地区行事）の代行
- □ 灯油入れ
- □ 灯油購入
- □ こたつやストーブの出し入れ
- □ 家具の移動
- □ 買い物の代行
- □ 長期休暇中の子どもの預かり
- □ 急な事情による放課後預かり
- □ 子どもの学習支援
- □ ペットの世話
- □ 花・自家製野菜の水やり

⑦ その他、あなたが生活全般において手伝ってほしいこと、得意なことや手伝えることがあればご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

対象者：
２０歳以上の方全員

実施時期：
Ｈ２９．１２．７～
Ｈ３０．１．１３

配布数：２５５枚
回答数：２０４枚

実施主体：
熊野井倉野地区
福祉ネットワーク

＜アンケート結果＞

手伝ってほしいこと	人数
草刈り	３５
送　迎	３３
鳥獣対策	２２
⋮	
総　数	２３９

手伝えること	人数
ゴミ出し	３８
草取り	３７
買い物代行	３７
⋮	
総　数	４０６

“手伝ってほしい”ことより、
“手伝えること”の方が多い！

地域の助け合い活動を始めるなら今だ！

「地域住民のボランティア意識が高い！」

熊野・井倉野助け合い事業

H30.9月　スタート!!

◇実施主体

熊野の将来を考える会

◇支援内容

送迎支援・生活支援

◇対象者

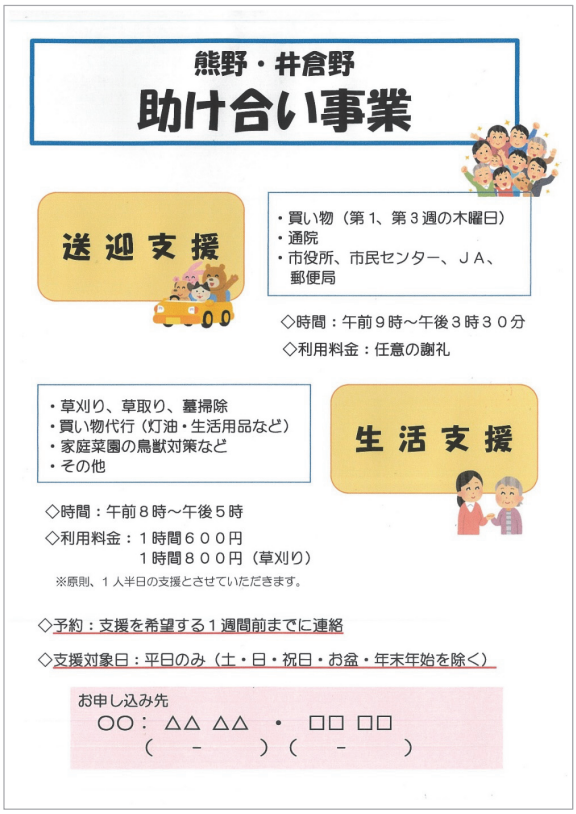
有効な移動手段を持たない方・生活支援を必要としている方

◇ボランティア

運転ボランティア･･･６名

生活支援ボランティア･･･９名　（※うち２名は運転ボラ兼務）

熊野・井倉野　助け合い事業



熊野・井倉野

助け合い事業

送迎支援

・買い物（第１、第３週の木曜日）
・通院
・市役所、市民センター、ＪＡ、郵便局

◇時間：午前９時～午後３時３０分
◇利用料金：任意の謝礼

生活支援

・草刈り、草取り、墓掃除
・買い物代行（灯油・生活用品など）
・家庭菜園の鳥獣対策など
・その他

◇時間：午前８時～午後５時
◇利用料金：１時間６００円
１時間８００円（草刈り）
※原則、１人半日の支援とさせていただきます。

◇予約：支援を希望する１週間前までに連絡
◇支援対象日：平日のみ（土・日・祝日・お盆・年末年始を除く）

お申し込み先
〇〇：△△ △△　・　□□ □□
（　－　）（　－　）

助け合い活動の基盤づくり

唐松まちづくり協議会　設立までの経緯

（既存組織を統合して新設）母体組織：唐松地域まちづくり推進委員会・唐松地域振興会

平成30年　4月　**既存組織の統合に向けた話**が持ち上がる

地域内の目的が同じで役員も重なる団体を一つにして、住民負担を軽減し、よりよいものにしたい。

設立準備会の立ち上げ

◇メンバー：２０名

◇協議開始：Ｈ３０年１０月３１日（おおむね月に2回協議）

■唐松地域共生社会推進チームの関わり方

○地域運営組織の設立支援

▶話し合いの場への参加

▶話し合いのサポート

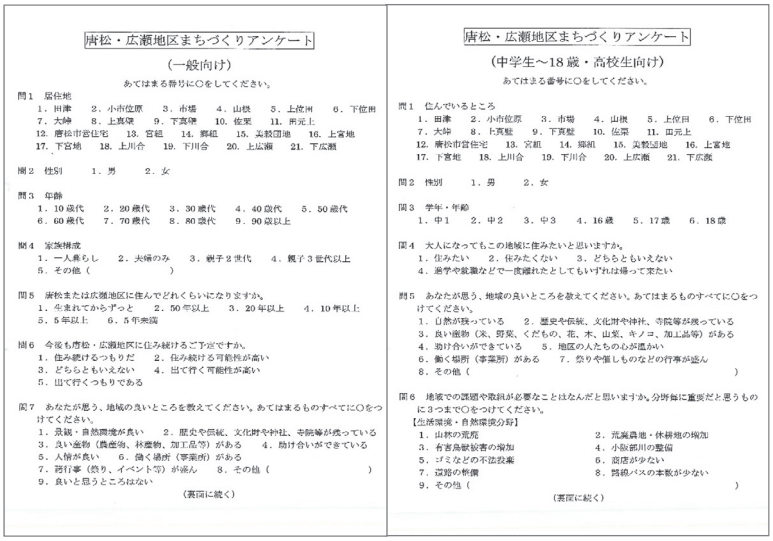
▶事例などの情報提供

将来計画づくり

■まちづくりアンケート

“一般向け”
“中学生～18歳向け”
を作成

対象者：唐松・広瀬地区に住む地域住民
回答者：一般向け511名、中高生34名（回収率：約60%）



唐松・広瀬地区まちづくりアンケート

（一般向け）

あてはまる番号に○をしてください。

問1　居住地
1．田津　2．小市位原　3．市場　4．山根　5．上位田　6．下位田
7．大緑　8．上真壁　9．下真壁　10．佐渡　11．田元上
12．唐松市営住宅　13．宮組　14．郷組　15．高敷団地　16．上宮地
17．下宮地　18．上川合　19．下川合　20．上広瀬　21．下広瀬

問2　性別　1．男　2．女

問3　年齢
1．10歳代　2．20歳代　3．30歳代　4．40歳代　5．50歳代
6．60歳代　7．70歳代　8．80歳代　9．90歳以上

問4　家族構成
1．一人暮らし　2．夫婦のみ　3．親子2世代　4．親子3世代以上
5．その他（　　）

問5　唐松または広瀬地区に住んでどれくらいになりますか。
1．生まれてからずっと　2．50年以上　3．20年以上　4．10年以上
5．5年以上　6．5年未満

問6　今後も唐松・広瀬地区に住み続けるご予定ですか。
1．住み続けるつもりだ　2．住み続ける可能性が高い
3．どちらともいえない　4．出て行く可能性が高い
5．出て行くつもりである

問7　あなたが思う、地域の良いところを教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。
1．景観・自然環境が良い　2．歴史や伝統、文化財や神社、寺院等が残っている
3．良い産物（農産物、林産物、加工品等）がある　4．助け合いができている
5．人情が良い　6．働く場所（事業所）がある
7．習行事（祭り、イベント等）が楽しん　8．その他（　　）
9．良いと思うところはない

（裏面に続く）

唐松・広瀬地区まちづくりアンケート

（中学生～18歳・高校生向け）

あてはまる番号に○をしてください。

問1　住んでいるところ
1．田津　2．小市位原　3．市場　4．山根　5．上位田　6．下位田
7．大緑　8．上真壁　9．下真壁　10．佐渡　11．田元上
12．唐松市営住宅　13．宮組　14．郷組　15．高敷団地　16．上宮地
17．下宮地　18．上川合　19．下川合　20．上広瀬　21．下広瀬

問2　性別　1．男　2．女

問3　学年・年齢
1．中1　2．中2　3．中3　4．16歳　5．17歳　6．18歳

問4　大人になってもこの地域に住みたいと思いますか。
1．住みたい　2．住みたくない　3．どちらともいえない
4．進学や就職などで一度離れたとしてもいずれは帰って来たい

問5　あなたが思う、地域の良いところを教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。
1．自然が残っている　2．歴史や伝統、文化財や神社、寺院等が残っている
3．良い産物（米、野菜、くだもの、花、木、山菜、キノコ、加工品等）がある
4．助け合いができている　5．地区の人たちの心が温かい
6．働く場所（事業所）がある　7．祭りや楽しものなどの行事が楽ん
8．その他（　　）

問6　地域での課題や取組が必要なことはなんだと思いますか。分野毎に重要だと思うものに3つまで○をつけてください。
【生活環境・自然環境分野】
1．山林の荒廃　2．荒廃農地・休耕地の増加
3．有害鳥獣被害の増加　4．小規模河川の整備
5．ゴミなどの不法投棄　6．商店が少ない
7．空地の修繕　8．路線バスの本数が少ない
9．その他（　　）

（裏面に続く）

■唐松地域共生社会推進チームの関わり方

▶アンケート項目のアドバイス
▶アンケート結果の集計・とりまとめ

将来計画づくり

■ワークショップ

～小学生から大人まで一堂に会して～

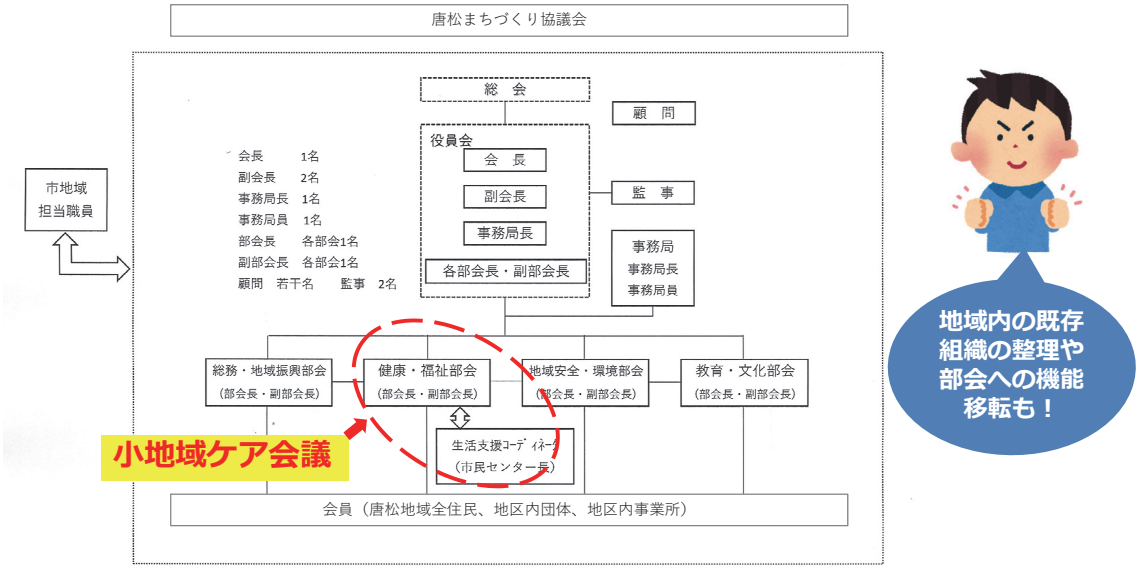
日　時：H３１年２月２４日（日）
場　所：唐松公民館
出席者：６０名
内　容：①唐松の夢・将来像・キャッチフレーズ
②キャッチフレーズの実現に向けて必要なこと、自分たちができること

■唐松地域共生社会推進チームの関わり方

▶全体の運営・進行のサポート
▶グループ内に入り話し合いのサポート
（とりまとめ・発言者の選定等）

組織構成・規約の整備

（アンケート結果やワークショップの内容などを基に検討）



健康・福祉部会がこれまでの地区社協（福祉ネットワーク）の機能を引き継ぎ
部会メンバーを中心に小地域ケア会議で福祉課題など協議していく

【地域運営組織】
唐松まちづくり協議会設立

■設立日　：令和元年６月２日(日)
■場所　　：唐松市民センター
■出席者数：６０名
■人口　　：９７２人
■世帯数　：３１９世帯

＜活動状況＞

■地域住民みんなでつくり共有した「将来計画」を基に活動していく

■既存の取組のほか、新たに盛り込まれた取組は、実現に向けて各部会で検討していく

＜唐松地域の目指す将来像＞

みんな笑顔でやさしい地域　「オール唐松」で未来へつなごう

唐松地域
まちづくり将来計画

唐松地域の目指す将来像
みんな笑顔でやさしい地域
「オール唐松」で未来へつなごう

唐松の名前の由来

唐松という地名は古く、中世には備中国村社(林)郷の地名として記録が残っています。由来は定かではありませんが、曹唐松の大木があったことにちなむともいわれています。

唐松地域にお住まいのみなさんへ

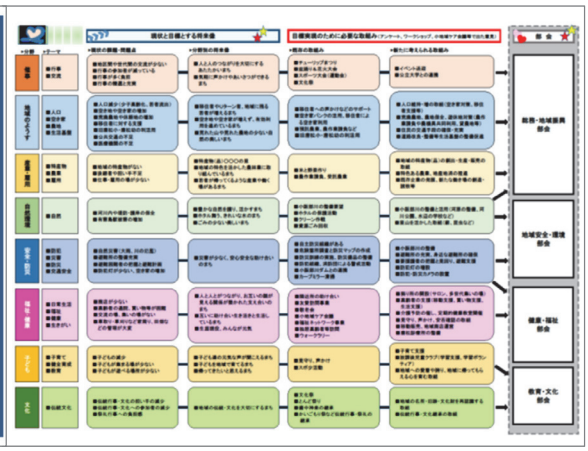
唐松地域では、将来に亘って住みよい地域であり続けるよう、まちづくりアンケートや「未来をみんなで語り合う会（ワークショップ）」などを開催し、小・中学生から大人まで、地域のみなさんで唐松の未来について話し合ってきました。

全国的な人口減少時代が到来する中、和気あいあいと楽しく暮らせ、助け合い、協力し合える住みよい地域、地域の特性を活かしたキラリと光る地域を目指し、「唐松まちづくり将来計画」を策定しました。

唐松で暮らすすべての人が夢と希望をもって生活し、未来を担う子どもたちに引き継いでいけるよう、一人ひとりが地域を愛し、考え、行動する地域を目指し、オール唐松で一緒に取り組んでいきましょう！

本計画は、時代の変化に合わせ、必要に応じて見直しを行っていきます。

▶発行　唐松まちづくり協議会（令和元年6月）



熊野地域運営組織　設立までの経緯

（既存組織からの移行）母体組織：熊野の将来を考える会

助け合いに関するアンケート調査（H29.12）を行ったことをきっかけに
“熊野・井倉野助け合い事業”がスタート！！（H30.9）

その後

役員会で**地域運営組織への移行に関する協議開始！**

■**メンバー：26名　熊野の将来を考える会**
顧問、会長、副会長、理事（地区総代・各種団体代表）

■**井倉地域共生社会推進チームの関わり方**

○**地域運営組織の設立支援**
▶話し合いの場へのサポート
▶話し合いのサポート
▶事例などの情報提供
（例）設立までの手順等

将来計画づくり　ワークショップ

－ 子どもの会 －

日時：平成31年3月30日(土)

場所：熊野総合センター

出席者数：23名

（内容）

①地域のいいところは？
②将来、こんな地域になったらいいな
③やってみたいこと、やってほしいこと

将来計画づくり　ワークショップ

－ 大人の会 －

日時：平成31年4月12日(金)

場所：熊野総合センター

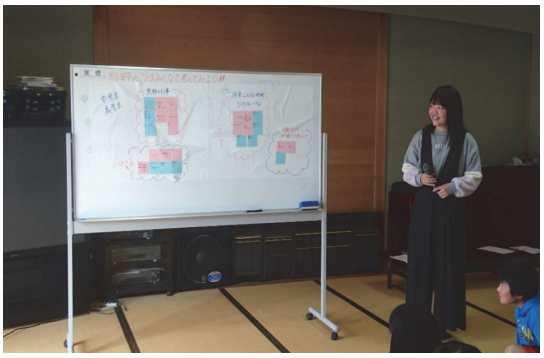
出席者数：３０名

（内容）

①地域のいいところは？
②将来像。どんな地域であってほしいか？
③そのためにできること、必要なこと

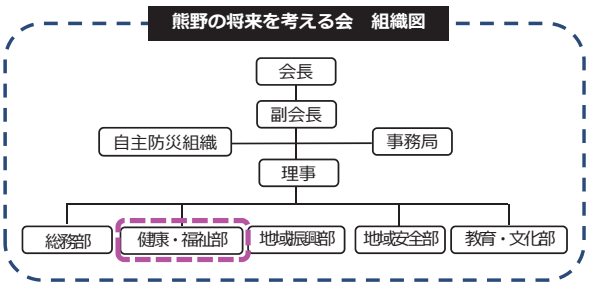
将来計画づくり　ワークショップ

■井倉地域共生社会推進チームの関わり方
　▶全体の運営・進行のサポート
　▶グループ内に入り、話し合いのサポート
　　（とりまとめ・発言者の選定等）



【地域運営組織】
熊野の将来を考える会設立

■設立日　：令和元年5月18日(土)
■場所　　：熊野総合センター
■出席者数：39名
■人口　　：269人
■世帯数　：101世帯

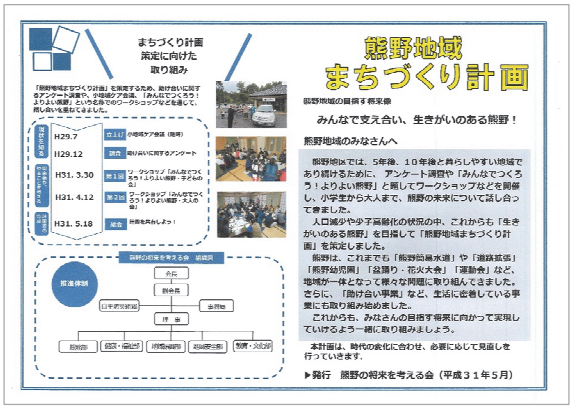


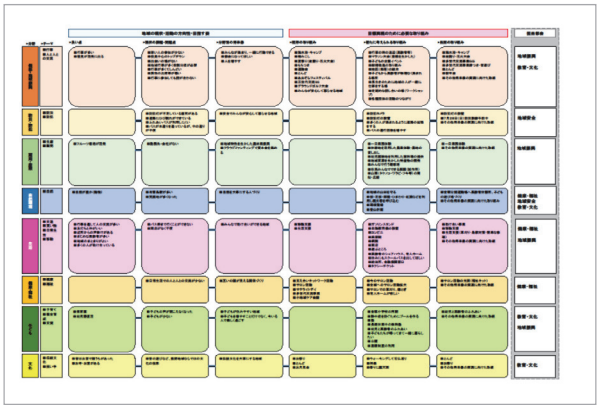
健康・福祉部を中心に
小地域ケア会議で福祉
課題などを協議

熊野地域　まちづくり将来計画

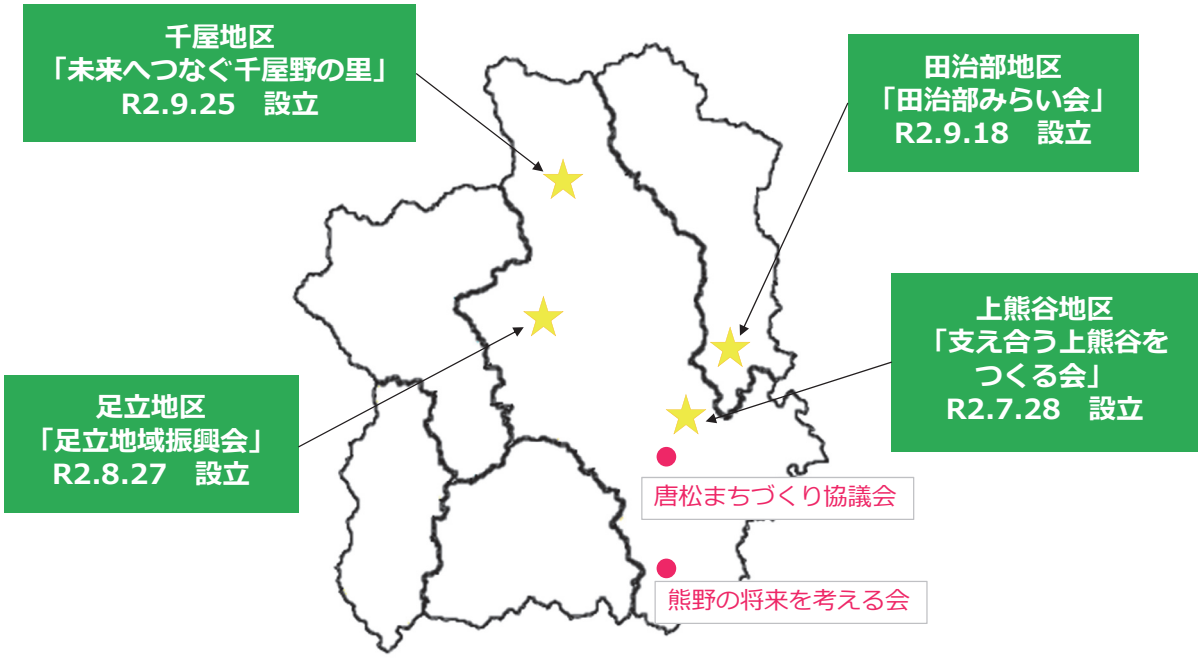
＜熊野地域の目指す将来像＞

みんなで支え合い、生きがいのある熊野！





各地区で地域運営組織が立ち上がっています！



※R3.3.31現在

取 組 紹 介
～広報活動～

取組紹介　～広報活動～

＜神郷南地区＞
小地域ケア会議かわら版

＜思誠地区＞
思誠地区社協だより

＜宮河内地区＞
宮河内地区ふるさと振興協議会
のお知らせ

取組紹介　～広報活動～

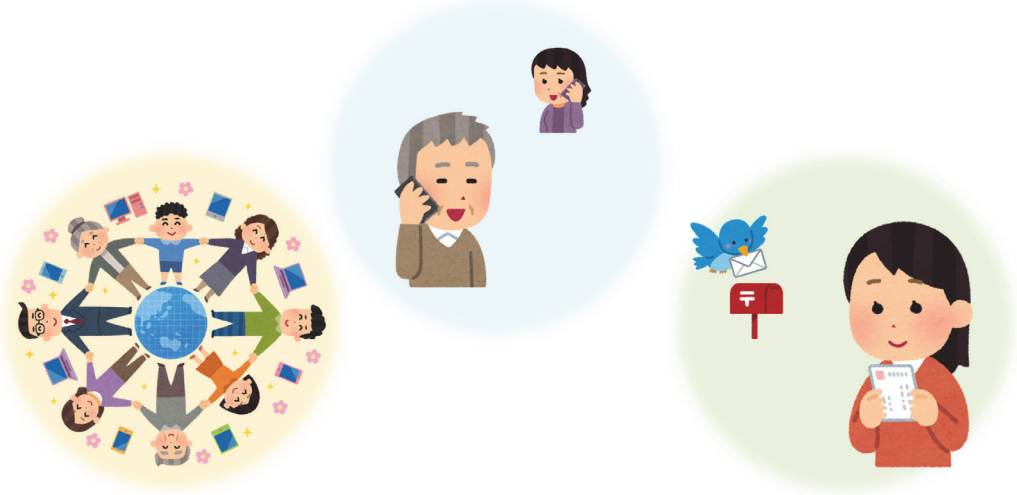
いろんな形で
地域活動をお知らせしています。

千屋市民センターだより

福本公民館だより

“笑顔”結びプロジェクト

～想いをつないで笑顔を結ぶ～



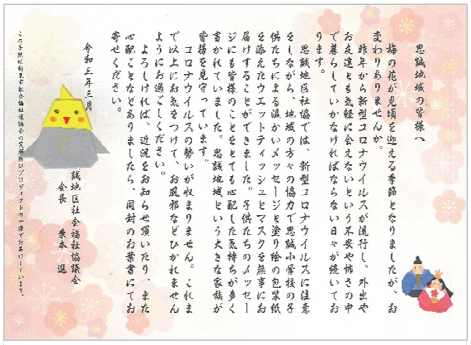
笑顔結びプロジェクト

新見市社協では、**「“笑顔”結びプロジェクト」**を進めています。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との関わりが少なくなり、不安感を抱いている方がいる中で、電話やメール、手紙、声かけなどみなさんができる方法で、なかなか会うことのできない友達や遠くに住む親せき、最近会っていないご近所の方などに連絡をする活動です。

友達や親族の方、ご近所同士で連絡をし合い、「一人じゃないよ」「一緒に乗り越えよう」などの思いを伝えることで、相手の方に安心感やがんばろうという前向きな気持ちを伝える活動として推進しています。

笑顔結びプロジェクト

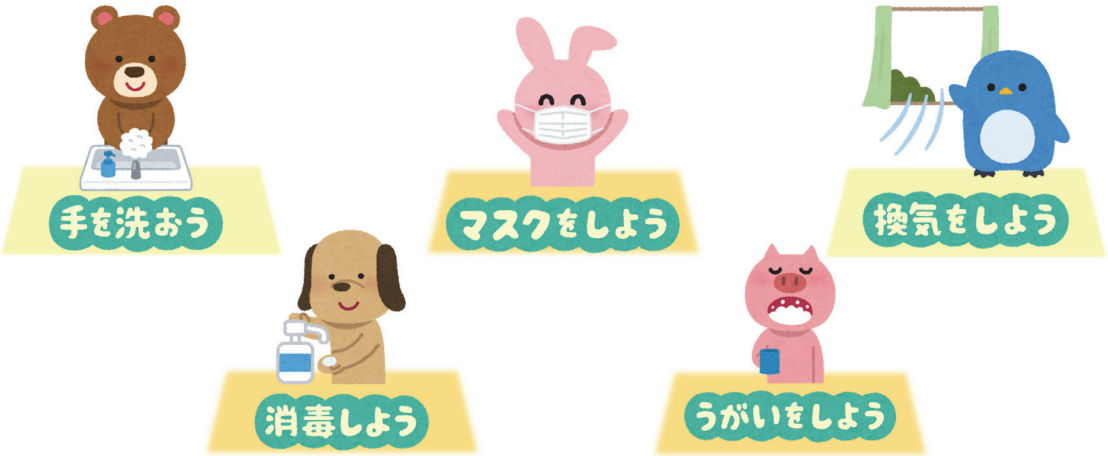
新見市福祉ボランティアの会の取組
「ひとり暮らし高齢者の集い参加者の方々へ」



思誠地区社協の取組
「絵手紙で想いを伝えよう」

上熊谷地区レインボーサークルの絵手紙活動

新しい生活様式を踏まえた地区社協活動



withコロナ　地域福祉活動

法曽ふれあい事業	井倉訪問活動
草間　ひな祭り弁当配布	
	感染症対策をして 訪問しています

withコロナ　地域福祉活動

合同研修会（大佐5地域振興福祉協議会）

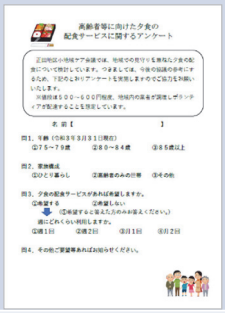
思誠ZOOMを活用した福祉連絡会

千屋げんきまつり

広瀬地区　とんど祭り

withコロナ　地域福祉活動

正田地区　配食サービスに関するアンケート



高齢者等に向けた夕食の
配食サービスに関するアンケート

正田地区小地域ケア会議では、地域での取りくむべきなんら夕食の配食について検討しています。つきましては、今後の協議の参考にするため、下記のとおりアンケートを実施しますのでご協力をお願いいたします。
※現在は５００～６００円程度、地域内の業者が調理しボランティアが配達することを想定しています。

名 前【　　】

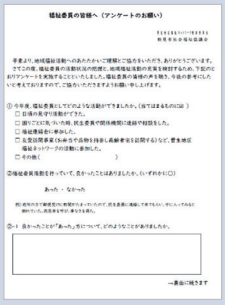
問1、年齢（令和３年３月３１日現在）
①７５～７９歳　②８０～８４歳　③８５歳以上

問2、家族構成
①ひとり暮らし　②高齢者のみの世帯　③その他

問3、夕食の配食サービスがあれば希望しますか。
①希望する　②希望しない
（②希望すると答えた方のみお答えください。）
週にどれくらい利用しますか。
①週１回　②週２回　③月１回　④月２回

問4、その他ご要望等あればお知らせください。

福祉委員活動アンケート（草間・菅生）



福祉委員の皆様へ（アンケートのお願い）

平素より、地域福祉活動へのあたたかいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さてこの度、福祉委員の活動状況の把握と、地域福祉活動の充実を検討するため、下記のとおりアンケート実施することにいたしました。福祉委員の皆様の声を聞き、今後の参考にしたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

① 今年度、福祉委員としてのどのような活動ができましたか。（当てはまるものに○）
□ 日頃の見守り活動ができた。
□ 困りごとに気づいた時、民生委員や関係機関に連絡や相談をした。
□ 地域集会に参加した。
□ 友愛訪問事業（お年寄や病弱や障害に高齢者宅を訪問する）など、豊生地区福祉ネットワークの活動に参加した。
□ その他（　　）

②福祉委員活動を行っていて、困ったりたとはありましたか。（いずれかに○）

あった・なかった

例）通院のため「車椅子」が必要になったのに、民生委員に連絡して来てもらい、やむをえずタクシーを使ったりした。民生委員を呼び、車いすを借りた。

②－１ 困ったことが「あった」方について、どのようなことがありましたか。

→裏面に続きます

上市　第2次小地域福祉活動計画　策定

第１次　上市地区小地域福祉活動計画評価シート

基本理念【上市は みんなで支え合い いつも笑ゆう 地域の輪】
▶目標１　「１人ひとりが地域とのつながりを感じる上」

①家庭から協力

活動内容	目標達成状況	取り組んだこと	取り組んだ中で やってよかったこと	課題	今後の方向性	ご意見
日頃から地域とのつながりを大切にし、ちょっとした気配りが出来ている。	○○％ 〇〇〇〇〇〇	平成28年度は第1回小地域福祉会議を行ったサロンやボランティア活動に、取り組む機会作りを行った。 平成29年度は高齢者福祉を目的とした、小地域ボランティア活動の推進を図り、地域の高齢者の見守りを行った。 平成30年度は、地域の高齢者の見守りを行った。 ・平成29年度から地域福祉推進委員会を立ち上げ、毎年2回地域福祉推進委員会を開催し、地域の高齢者の見守りを行った。 ・平成30年12月から今年度、小地域福祉活動推進委員会を開催し、活動報告を行った。（活動報告参照）	地域の中で、ちょっとした気配りが、高齢者の見守りとなっていると、思われる。 小地域福祉会議を開催することで、地域の高齢者の見守りとなっている。	地域の中で、ちょっとした気配りが、高齢者の見守りとなっていると、思われる。 小地域福祉会議を開催することで、地域の高齢者の見守りとなっている。	継続的に取り組む。	継 拡 見直し 終 了

②見守りの連携

活動内容	目標達成状況	取り組んだこと	取り組んだ中でよかったこと	課題	今後の方向性	ご意見
高齢者や障害者等に連携して地域の高齢者等を見守ります。	○○％ 〇〇〇〇〇〇	高齢者や障害者等に、地域の中で、地域の高齢者の見守りを行った。	高齢者や障害者等に、地域の中で、地域の高齢者の見守りを行った。		継 拡 見直し 終 了	

③趣味や活動の充実

活動内容	目標達成状況	取り組んだこと	取り組んだ中でよかったこと	課題	今後の方向性	ご意見
各種団体に地域課題を投げ、自分の活動の充実をはかります。	○○％ 〇〇〇〇〇〇	・各種団体へ地域課題を投げていない。 ・各種団体で、ボランティア活動を、高齢者向けの中で自分の活動を充実させることがおきた。			継 拡 見直し 終 了	

④家庭内も働いの実践

活動内容	目標達成状況	取り組んだこと	取り組んだ中でよかったこと	課題	今後の方向性	ご意見
地区で年間を通じて、ちょっとした気配りを行っていく。	○○％ 〇〇〇〇〇〇	定期的に年１回、地域で年間を通じ地域の高齢者を見守り、地域の高齢者の見守りを行った。 地域内の高齢者の見守りを通じ地域の高齢者の見守りを行った。 しかし（平成29年度）年２回の高齢者の地域会議を開催していない。（地域会議の開催実施）	定期的に年１回、地域で年間を通じ地域の高齢者の見守りを行った。 地域内の高齢者の見守りを通じ地域の高齢者の見守りを行った。 しかし（平成29年度）年２回の高齢者の地域会議を開催していない。（地域会議の開催実施）	地域で年間を通じ地域の高齢者の見守りを行った。 地域内の高齢者の見守りを通じ地域の高齢者の見守りを行った。 しかし（平成29年度）年２回の高齢者の地域会議を開催していない。（地域会議の開催実施）	継 拡 見直し 終 了	

上市地区社会福祉協議会

参 考 資 料

新型コロナウイルス感染症予防のお知らせ文書

・新しい生活様式を踏まえた「ふれあい事業」実施における留意事項
・新しい生活様式を踏まえた地区社協会議・小地域ケア会議・福祉連絡会等における留意事項
・訪問をされる場合には感染予防を充分におこないましょう！
・サロンに参加される皆様へお願い
・新見型 新しい生活様式を実践！
・感染リスクが高まる「5 つの場面」
・参考文書：新型コロナウイルス感染拡大防止 事前通知文書

新しい生活様式を踏まえた

「ふれあい事業」実施における留意事項

＜開催案内に記載していただく内容＞

■ 検温をし、発熱または風邪症状や体調不良等の場合は参加を控えてください。

■ マスクの着用をお願いします。

■ 手洗い、手指消毒、咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保のご協力をお願いします。

■ ２週間以内に特定警戒されている地域や海外等へ出掛けた方は、参加を控えていただきますようお願いします。

＜実施するときに気をつけていただきたいこと＞

■ 受付で参加者の健康チェックと連絡先を把握する。
（発熱または風邪症状や体調不良等の確認）

■ 手指用アルコール消毒液を設置し、消毒を促す。

■ ３密（密閉、密集、密接）を避ける工夫をしましょう。

・こまめな換気を行う。（窓と入り口を開け、３０分ごとに１回程度）

・他の人との間隔は、２メートル空ける。（お互いに手を伸ばして届かない程度が理想）

・対面は避け、横並びや前後になるようにする（対面での協議が避けられない場合には椅子の数や配置を工夫する等十分な距離が保てるよう工夫する）

■ 短時間の実施を目指す。

■ 参加者数は、会場収容人数の半分以下にする。

■ 調理・会食は控える。

■ 熱中症予防のため、水分補給をする。

■ 開催時間と開催場所の工夫をする。

■ 大声を出すときにはマイクを使用する。

■ 複数の人が共有する物品（テーブル、椅子、ドアノブ、文房具など）は適宜消毒を行う。

＜準備物＞～必要に応じて準備～

・手指用消毒液　・消毒用エタノール製剤　・非接触式体温計

・使い捨てタオル、またはペーパータオル、マスクなど

新しい生活様式を踏まえた
地区社協会議・小地域ケア会議・福祉連絡会等における留意事項

＜開催案内に記載する内容＞

□ 検温をし、発熱または風邪症状や体調不良等の場合は参加を控えてください。
□ マスクの着用をお願いします。
□ 手洗い、手指消毒、咳エチケット、ソーシャルディスタンスの確保のご協力をお願いします。
□ ２週間以内に特定警戒されている地域や海外等へ出掛けた方は、参加を控えていただきますようお願いします。

＜実施するときに気をつけていただきたいこと＞

□ 受付で参加者の健康チェックと連絡先を把握する。
（発熱または風邪症状や体調不良等の確認）
□ 手指用アルコール消毒液を設置し、消毒を促す。
□ ３密（密閉、密集、密接）を避ける工夫をしましょう。
・こまめな換気を行う。（窓と入り口を開け、３０分ごとに１回程度）
・他の人との間隔は、２メートル空ける。（お互いに手を伸ばして届かない程度が理想）
・対面は避け、横並びや前後になるようにする（対面での協議が避けられない場合は椅子の数や配置を工夫する等、距離が保てるよう工夫する）
□ 短時間の内容とする
□ 飲食は控える（熱中症予防のため水分補給は行う）
□ 参加者数は、会場収容人数の半分以下にする。
□ 大声を出すときにはマイクを使用する。
□ 複数の人が共有する物品（テーブル、椅子、ドアノブ、文房具など）は会実施の前後に適宜消毒を行う。

＜準備物＞必要に応じて準備

・手指用消毒液　・消毒用エタノール製剤　・非接触式体温計
・使い捨てタオル、またはペーパータオル、マスクなど

訪問をされる場合は
感染予防を充分におこないましょう！

体調の良いときに訪問を

検温をし、風邪症状がある場合や発熱がある場合の
訪問は控えましょう

訪問は玄関先で

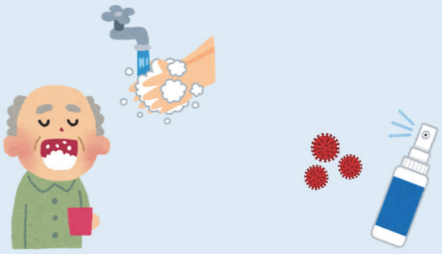
2m 程度の間隔をあけ、原則 15 分以内の
訪問にしましょう

マスクの着用の徹底

訪問する際には必ずマスクを着用しましょう

お互いに手洗い・うがいを

訪問者だけでなく
お互いに手洗い・うがいを
おこないましょう



新型コロナウイルス感染症を予防するために

― サロンに参加される皆さまへのお願いです ―

【個人で気をつけていただきたいこと】

■ 検温をし、発熱または風邪症状がある場合は参加を控えてください。

■ 手洗いを徹底してください。
（３０秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う）

■ サロンではマスクの着用をお願いします。

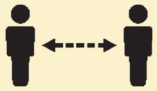
【実施するときに気をつけていただきたいこと】

■ 開始前に参加者の健康チェックを行う。（発熱または風邪症状がないか）

■ アルコールで手指消毒をする。

■ ３密（密閉、密集、密接）を避ける工夫をしましょう。
- こまめな換気を行う。
（窓と入り口を開け、３０分ごとに一回程度）
- 他の人との間隔は、最低１メートル以上空ける。
- 対面は避け、横並びや前後になるようにする。

■ 短時間の実施を目指しましょう。（１時間程度）



■ 会食は控えましょう。

■ 熱中症予防のため、水分補給をしましょう。

■ 開催時間と開催場所の工夫をしましょう。

■ 複数の人が共有する物品（テーブル、椅子、ドアノブなど）は適宜消毒を行う。

社会福祉法人新見市社会福祉協議会

緊急事態宣言の解除は、新型コロナウイルスと共存するための、新しい生活の始まりです。気を緩めることなく、感染予防や拡大防止にしっかり取り組みましょう。
特に、高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う時は、十分な配慮をすることが大切です。

新型コロナウイルス感染症予防のため **新見型**

新しい生活様式を実践!

飛沫感染や接触感染を防ぐため近距離での会話に注意しましょう

人との距離は千屋牛1頭分

約2m

間に千屋牛を入れるイメージを持ってね!

基本的感染対策

人との**間隔**はできるだけ**2m空ける**

会話や外出時、症状が無くても**マスクを着用**
咳エチケットも忘れずに

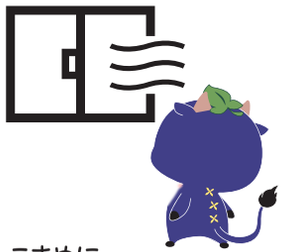
家に帰ったら水とせっけんで**30秒手を洗う**

基本的生活様式「3密を避ける」

✕密閉

✕密集

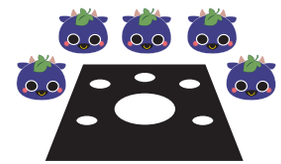
✕密接



こまめに**換気する**

真正面での会話は**避ける**

会食は**横並び**で**料理**は**個々**に



冠婚葬祭などは**多人数**での会食や**おしゃべり**は**控えめに**

買い物は**1人**か**少人数**
展示品をむやみに触らない

持ち帰りや**出前**も利用する

共有するもの
複数の人が触れる物は
定期的に消毒

出張・帰省や**旅行**は**控えめに**

遊びに行くなら屋内より**屋外**

毎朝**体温**を測る
会った人を**記録**

電子決済も利用する

発熱や**風邪**の**症状**があれば**自宅**で様子をみる

企画／新見市

感染リスクが高まる「５つの場面」

場面１　飲食を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。
  また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで、区切られている狭い空間に、長時間、
  大人数が滞在すると、感染リクスが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリクスを高める。

場面２　大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に
  比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば５人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、
  感染リスクが高まる。

場面３

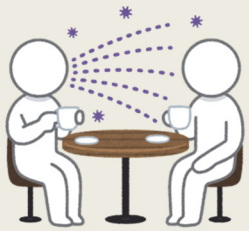
マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、
  飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例として、昼カラオケなどでの
  事例が確認されている。
- 車やバスでの移動する際の車中でも注意が必要。

場面４

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が
  共有されているため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が
  疑われる事例が報告されている。



場面５

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わる
  と、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる
  ことがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認
  されている。

参考文書

令和○年○○月○○日

各　　位

○○地区社会福祉協議会

○○事業おける新型コロナウイルス感染症拡大防止対応について

このことについて、下記の留意事項をご確認していただき、ご参加いただきますようお願いします。

記

①発熱、体調不良の場合は参加を控えていただきますようお願いします。
（当日、会場で検温、健康チェックをさせていただきます。）
②マスクを着用し、咳エチケットの徹底をお願いします。
③手洗い、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保のご協力をお願いします。
④２週間以内に特定警戒されている地域、海外等を訪れた方、身の回り（家族など）で新型コロナウイルス感染症の罹患者がいた方は、参加を控えていただきますようお願いします。
⑤受講後、２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、また、感染が確認された場合はご連絡ください。
⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を延期にする場合がありますのでご了承ください。

令和４年度

https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

保険金の種類 ＼ プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）		
年間保険料			350円	500円	550円

＊4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

商品パンフレットは
コチラ

（ふくしの保険ホームページ）

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償（傷害保険）

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者　社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店　株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の 9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJ21-10723 より抜粋して作成〉

地域活動コレクション　Ver.3

発 行 者　社会福祉法人　新見市社会福祉協議会

〒718-0016　新見市金谷 640-1（新見市地域福祉センター内）

☎（0867）72-7306　／　FAX（0867）71-2088

大佐支所　〒719-3503　新見市大佐小阪部 1469-1（おおさ総合センター内）

☎（0867）98-3119　／　FAX（0867）98-2000

神郷支所　〒719-3611　新見市神郷下神代 3946（地域福祉センター内）

☎（0867）92-6677　／　FAX（0967）92-6675

哲多支所　〒718-0303　新見市哲多町本郷 246-4（新見市役所哲多支局内）

☎（0867）96-3111　／　FAX（0867）96-3222

哲西支所　〒719-3701　新見市哲西町矢田 3604（きらめき広場・哲西内）

☎（0867）94-3333　／　FAX（0867）94-2117